

235) 愛のため生きている

積もる雪踏みしめて すれ違う人の群れ
ぬくもりの待つ場所へ それぞれに帰ってく
人はみな束の間の 愛のため生きている
過ぎし日の哀しみを 思い出に閉じ込めて

深酒に酔いしれて 気がつくと君がいた
ぼくを見る美しい ^{まなざ}眼差しがそこにある
人はみな束の間の 愛のため生きている
過ぎし日の哀しみを 思い出に閉じ込めて

哀しみを道連れに 昨日まで生きてきた
ひとりでは寒いから 愛し合い^{いだ}抱き合い
人はみな束の間の 愛のため生きている
過ぎし日の哀しみを 思い出に閉じ込めて

倅せの訪れは いつだってありきたり
語り合い信じ合い 目を閉じて明日が来る
人はみな束の間の 愛のため生きている
過ぎし日の哀しみを 思い出に閉じ込めて

人はみな束の間の 愛のため生きている
過ぎし日の哀しみを 思い出に閉じ込めて